

平成26年度第3回大津町振興総合計画等評価委員会 議事録

1. 日 時：平成27年1月16日（金）午後1時30分～午後15時00分

2. 場 所：大津町役場 4階 大会議室

3. 議題等

(1) 開会

(2) 委員長あいさつ

(3) 議事

1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

土木部（都市計画課・建設課・下水道課・工業用水道課）

2) その他

4. 出席委員等

関係団体等	氏 名	備 考
学識経験者（熊本県立大学教授） ※委員長	明石 照久	出席
大津町民生委員・児童委員協議会会長 ※副委員長	豊住 幸夫	欠席
大津町企業連絡協議会会長	鳥栖 彰孝	出席
大津町区長会会長	緒方 祐二	出席
女性グループ（大津町女性の会会長）	坂本 晶江	出席
公募委員	清水 活代	出席
大津町教育委員	首藤 誠治	出席
公募委員	田中 玲子	出席
J A 菊池大津中央支所	瀬川 友次	出席
障害者関係団体（大津町身障者福祉会）	中村 静次	出席
商工会（商工会理事）	西川 秀貢	出席
肥後おおづ観光協会	山下 和貴	出席

5. 委員会傍聴人 0名

(1)開会

(2)委員長挨拶

(3)議事 1) 大津町振興総合計画基本事業の評価について

都市計画課 (P4～5、16～27について) 都市計画課長より説明。

委員長 ありがとうございます。都市計画課関係のまちづくりの基本に関わる事業の説明をいただきました、これから質疑に入りたいと思いますが、基本事業が複数にまたがっておりますので、ご質問いただく場合は、どの事業に関わる質問なのか、ページをお知らせいただき、ご意見・ご質問をいただきたいと思います。

首藤委員 4-4-1 駅周辺の交通システムの整備についてですが、成果指標において肥後大津駅の1日あたり利用者数が年々増加しており、併せて空港ライナーも年々増加していると思われます。空港ライナーは私も利用しており、非常に便利だと思っており継続を希望しておりますが、空港ライナーの利用者が肥後大津駅の利用者に影響しているのか。空港ライナーは独自アンケートを取っておられたと思いますが、アンケートの内容が分かれば教えていただきたい。また、町として空港ライナーを継続していく意向があるのかも併せて教えていただければと思います。

総合政策課 空港ライナーについては、総合政策課の所管となりますので回答させていただきます。肥後大津駅の利用者が増加しておりますが、空港ライナーの利用者も年々増加しております。1日平均200名を超える利用がっております。現在も利用者伸びており、どこまで利用が増えるか予測はできませんが、非常にうれしいことだと考えております。空港ライナーで1日200名程度の利用者がっておりますので、その影響で肥後大津駅の利用者も伸びていると思われます。空港ライナーのアンケートについては、熊本県が主体となって実施しております。内容は、どこから来て、どこに行くのか等のアンケートは取られているようです。多かったのが熊本市ですが、大津町の方の利用も多いようです。また、空港ライナーを大津町として今後どのようにしていくのかということですが、空港ライナーは空港と大津町を繋ぐものであり、町の発展には欠かせないものになっていると考えますので、今後も継続していただきたいと考えており、熊本県とも協議を進めているところです。

緒方委員 4-5-1 安全・安心な公園の整備についてですが、私の住んでいる地区にも公園があります。全体で22の公園を管理していると言われましたが、公園の中には必ず遊具を設置する必要があるのでしょうか。設置しないのであれば設置しなくてもいいのでしょうか。

都市計画課 遊具を設置しなければならないという規定はありません。

委員長 他にありませんでしょうか、現在、交通システムの整備、公園の整備について質問がりましたが、他に公営住宅に関する事業、土地利用の推進に関する事業もありましたが、全体を通して、ご意見・ご質問はありませんでしょうか。

山下委員 4-5-1 安全・安心な公園整備に関してですが、先日、私が参加した会議において、公園のトイレについて意見がありました。様々なイベントを実施する時に、まずトイレ

の場所と状況を確認すると言われておりました。その中でトイレが使いやすい、汚れていないか等を確認するということでした。今、観光協会としてもフットパスに力を入れて行きたいと考えておりました、町中の散策を推進したいと考えておりますが、来ていただく方に対して重要なのがトイレだと思います。しかしながら、町に話を聞くと、トイレを整備してもすぐに破損される等のいたずらが多くて困っているという話も聞いておりますが、交流人口の増加を図るうえで、トイレの整備は放置できない内容ではないかと思います。このことについて何らかの対策や整備計画があればお聞きしたいと思います。また、整備方針に関して、例えばウォシュレットを設置する等、大津にあれば使いやすいトイレがあるというような、まちづくりの考えがあるのかお聞きできればと思います。

都市計画課 町で整備しております公園については、ほとんどが30年を経過し老朽化しております。トイレの改修についても相当な費用が必要になります。老朽化しているので汚い、利用者も汚いので、汚しても気にしないという悪循環が生まれているのではないかと考えております。しかし、清掃について基本的に週2回は実施をしており、昭和園はシーズン中毎日実施しております。ただ老朽化をしているのは確かなので、国庫補助事業を活用して、トイレ改修を実施していきたいと考えております。そのために同じく国庫補助事業を活用して、平成27年度に長寿命化計画を作成することで考えており、平成28年度から改修に着手したいと考えております。

山下委員 NPO団体も含めて、フットパスで町中散策をすることを計画されているようなので、見る目線を変えて、参加者の意見等も取り込んでいただき、そのような事業に活用できる整備計画にしていいただければと思います。

都市計画課 担当としては、庁舎内にいますので、今後、直接ご意見いただければ参考にさせていただきますと思います。

山下委員 駅前開発についてですが、現在、都市計画道路駅前楽善線が整備されており、本年度工事が終了するとのことですが、今後は、JR肥後大津駅を跨ぐ整備計画というのがあるのでしょうか。

都市計画課 JR肥後大津駅から先についてですが、例えば、駅舎を移動させる、駅を跨ぐ、駅の下を通るという方法がありますが、いずれの方法も莫大な費用が発生します。以前、駅舎を移動させる事業費試算をしておりますが、駅舎を移動させるだけで約30億円。JRについては全く費用負担をいただけませんので、町だけで負担する必要があります。ただし、駅舎を移動させるだけの事業では終わりません。駅舎を移動させるためには、線路も改修する必要があり、これについてもかなりの費用が発生すると思われるので、現在のところ道路については駅までで終了ということになります。それ以上の計画は今のところ考えておりません。

山下委員 考え方として、まちづくりの総合計画の中で、町のあり方で20年後、50年後を考えたうえで、成果目標を立てていただき、現在の進捗はこの辺です。という説明いただき、町全体予算の中でどの程度が整備に利用できるのか共通認識のうえで、長期的に見ても無理だということを評価委員が見てわかるように説明いただければ、ありがたいと思いますが、単純に莫大な費用がかかるので無理です。と言われても。では、いくらあれば事業として可能なのかということになると思います。

都市計画課 先ほど説明させていただきましたが、駅舎を移動させるだけで約30億円、線路を迂回等させるための工事がいくら必要なるか分からない。

山下委員 もちろん費用対効果の話になってくるとはと思いますが、投資効果をどのように考えておられるのか。また、それが何年間でできるのか。それについては、どのようにお考えでしょうか。

都市計画課 現状で説明しますと、大津町の年間予算が約100億円程度の中で、30億円かけて駅舎移転、その他費用は試算できておりませんのでわかりませんが、年間予算の3割をかけて駅舎を移転させるかと言われると、担当課としては難しいという回答になります。

山下委員 年間100億円予算は単年だと思いますが、駅舎移転となると長期的な計画になると思います。また、駅舎を移転して道路を通した場合の投資効果はかなりあると思いますので、長期的に見た場合、例えば20年間は投資効果があるとみれば30億円も20分の1になると思いますので、今後の計画において駅舎移転と道路整備の長期的な投資効果についても試算いただき、示していただければと思います。

都市計画課 委員が言われるような整備に伴う長期的な投資効果等については、町職員レベルで作成するのは困難なので、コンサルタントに委託しなければ把握は困難だと思いますが、担当課としては、今のところその様な委託は計画をしておりません。

坂本委員 前年度 評価委員会の意見に関してですが、ビジターセンターが整備されてが、地元の物産の展示販売機能を備えるべきという意見がっておりますが、現状は空港ライナーの利用者やJR利用者も増加しているとのことですが、これに対して、前年度の意見を基に今年度の計画があれば教えていただきたいと思います。

都市計画課 申し訳ありませんでした。遅くなりましたが、前年度 評価委員会の意見に対する回答をさせていただきたいと思います。

前年度 評価委員会の意見に対する回答

- ・アパートの建設について近隣住民とのトラブルが発生しないような指導を要望する。

これについては、関係区長や近隣住民の方に対して、工事着工前に十分説明をするように都市計画課にて指導をしておりますので、現在のところ苦情はあっておりません。

- ・北口の開発は終了ではなく、もっと考えてもらいたい。

北口については、現在、駐輪場等の整備を実施しております。また、駅南口と北口につきましては、ビジターセンターができましたので、JRを利用しない人でも自由に通り抜けができるようになっておりますので、現在のところ、これ以上の整備計画は考えておりません。

- ・今後は駅前楽善線と、大津バイパスをつなぐ道路を進めてほしい。

これについては、先ほど説明させていただいたとおりです。

- ・ビジターセンターを、地元の物産の展示販売機能を備えるべき。

ビジターセンターの管理運営については、商業観光課の所管となっておりますが、商業観光課に聞きましたところ、肥後おおづ観光協会の方で考えられるということで聞いております。

坂本委員 ビジターセンターでの物産の展示販売は、観光協会に対応ということは、今年からその様に実施していく予定があるのでしょうか。

都市計画課 今年、観光協会で考えるということで商業観光課から聞いておりますが、具体的にいつから始めるかについては聞いておりません。

山下委員 私も詳しく聞いた訳ではありませんが、協議させていただく中で、ビジターセンターは町の顔になっているところがありますので、ぜひビジターセンターを活用して、町の特産品等のPRを含めた紹介の場にしたいと思いますので、観光協会でビジターセンターの指定管理をさせていただけるのであれば、そういったことも含めてやらせて頂きたいということは伝えているところです。

委員長 他にご意見・ご質問はありませんでしょうか。
(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは他の課もありますので、ここで都市計画課関係を一度終了させていただきまして、建設課関係の事業説明をお願いしたいと思います。

建設課 (P7～15について) 建設課長より説明。

前年度 評価委員会の意見に対する回答

- ・道路沿線の除草、街路樹の管理等は地域の区役に依存している。何か助成や補助などがあるか。
これについては、大津町地域づくり活動支援事業補助金があり、30万円を限度に2分の1から3分の2を限度に補助する制度があり、行政区囑託員会議にて説明を実施しております。

- ・住民の道路要望に対して重要度の高い物から事業を進めることが大切。現場に行って住民意見を聞いてその対応を考え実施する。時間がかかる時は経過も住民に説明する必要がある。

現状では多い年で120～130、苦情を含めると300件程度の要望等がありますが、道路要望に関しては、行政区囑託員の方に要望書を提出いただくようお願いしております。また、可能な限り行政区囑託員立会いのうえ、現地調査を実施しております。対応については、状況により危険と思われる場合は予算の範囲において対応し、事業費がかなり必要と思われる場合、危険度が低いと思われる場合については、予算化にて対応しております。なお、本当にここまで必要なのかと思われる場合や時間を置いてもいいのではないかと感じる場合については、その場で行政区囑託員に話ができれば行いますが、その場で話ができなかった場合の回答が難しい状況となっております。

- ・通学路の歩道整備、特に大津中・農協から国道57号の間は深刻。

町としても長年の懸案事項でございまして、国・県とも相談させていただいているところです。現在、国・県・町で調整を進めておりますが、具体的にどのような道路ができるかというプランを作ろうという段階まで進んでおり、その後、図面を作成しながら用地の相談といった流れになるかと思います。大変ご迷惑をかけているところですが、現在はそんな状況となっております。

委員長 ありがとうございます。建設課関係の事業説明をいただきました、これから質疑に入りたいと思いますので、ご意見・ご質問をいただきたいと思います。

瀬川委員 4-3-2幹線道路網の整備における、国道57号四車線化事業に関連しまして県道整備について願です。国道57号四車線化整備ということで、立野から県道瀬田竜田線へのアクセスがスムーズになっております。それに伴う県道瀬田竜田線の交通量調査も実施されていると思いますが、県道瀬田竜田線の改良工事について計画されていると説明があ

りましたが、通学路でもあるうえ、極端に狭い場所もありますので、吹田から瀬田までの国道57号の四車線化供用が未定であれば、石坂線へのアクセスも増加すると思われますので、どちらとも年次計画を立てて実施していただきたいと思います。

建設課 県道瀬田竜田線について、瀬田地区については道路改良が終了しておりますが、吹田地区、森地区は狭い状態です。陣内交差点についても交差点形状がいびつな状況となっており、県もはっきりと状況を把握されておりまして、改良が必要とされていますが、地元との調整が進んでいないのが現状です。町としてもしっかりと対策をしていきたいと考えております。また、四車線化について、石坂線は現在改良に着手しているところですが、それより西側の吹田地区に向かう国道57号四車線化に関して、国ではある程度の年次計画を立てていると思いますが、公表はできないとのことなので、詳細は分かっておりませんが、用地等については進められているようですし、予算が付いた部分から工事を進められている状況です。

中村委員 都市計画道路駅前楽善線の開通に伴い交通量が増加すると思いますが、駅前交差点から大津バイパスに向かう車は、どのルートで抜けて行くのでしょうか。町ではどのように考えているのでしょうか。駅西側の踏切から行くのでしょうか。それとも役場前交差点を南に抜けて行くのでしょうか。

建設課 駅前楽善線については所管が都市計画課となっており、明確な回答ができませんが、どちらの方向に向かうかによるとと思いますが、熊本市方面であれば、県道との交差点から西に向かい、あけぼの団地交差点からH1ヒロセの方に抜けた方がいいとは思いますが

中村委員 駅前まで来られた場合に、どちらに抜けた方がいいのか、町では考えていないのかということですが。

山下委員 通勤路になる可能性が非常に高いと思います。

清水委員 道路白線等の路面標示について、うすくなっているところが多く見受けられます。最近では高齢者が危険な運転をしているのも多く、歩行者として危険を感じているので、早急に塗り直し等の整備を行っていただきたい。

建設課 道路白線等については所管が総務課となっておりますが、本年度についてはある程度の予算を確保して長い距離を整備しておりますが、交通量が多い路線では、すぐにうすくなってしまうので、何年持つかによるとは思いますが、より早く整備をしていくようにしたいと考えております。

緒方委員 代継橋についてですが、架け替え工事で2年から3年は期間が必要とありました。現在、通学路や通勤路となっておりますが、どのようになるのでしょうか。補償等があるのでしょうか。

建設課 通学路については、地元の説明会をさせていただいておりますが、通学をどうするのかという意見が多くありました。仮橋を作るとしても、大雨時や強風の際には仮橋自体が危険ということで、タクシーを配車して通学するということで保護者にはご理解いただいたところです。なお、県が町に対して何らかの方法でお金を払い、町でタクシー会社と契約する形になると思われます。通学については、そのような方法で進めるということで地元との調整が済んでおります。通勤については意見がありませんでしたので、森橋か内牧橋を利用していただきたいということで説明をしております。

委員長 それでは、先ほど質問がありました都市計画道路の件について、都市計画課より説明を

お願いします。

都市計画課 駅前楽善線と大津植木線の交差点については解析を行っておりますが、大津停車場線を駅前まで行っての右左折についての解析までは行っておりません。

委員長 その他、ご意見・ご質問ありませんでしょうか。

(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは、建設課関係についてはここで終了させていただきたいと思います。次に下水道課の基本事業のご説明をお願いいたします。

下水道課 (P28～30について) 下水道課長より説明。

前年度 評価委員会の意見に対する回答

- ・効率的な污水处理施設整備を図る事業に関する検討を行い実施に向けた最終協議を実行していただきたい。維持管理コストの縮減に向けた下水道副産物有効利用消化ガス発電の検討を。

平成28年度より効率的な污水处理施設整備を図る事業(MICS事業)が開始され、3農集地区からの汚泥を浄化センターに集めて濃縮して行くということで効率化を進める予定です。また、ガス発電についても認可が取れておりますので、平成28年度から事業展開ということで平成30年度を目標にガス発電に取り組んでいきたいと考えております。

- ・商店街の店舗で汲み取り式のトイレのお店が見受けられる。

調査の結果、対象となる店舗が見受けられました。原因として、基本的に下水道地区となった場合は、3年以内に接続していただくことになっておりますが、未だに接続されていない所があるとするば、借地や借家ではないかと考えます。

- ・水洗化率が目標値より低いということは、受益者負担金が所得に対して高額のため、水洗代までは手が届かないのでは。

確かに、高齢者の一人世帯が増加しております。前年度の意見に基づいて、負担金については上限を18万円とし、面積を上限設定しまして、軽減を図っております。

委員長 ありがとうございました。ただいま下水道課関係の説明をいただきましたが、ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

田中委員 下水道の処理について、結局のところ最終はどのような処理になるのでしょうか。

下水道課 流れとしては、家庭からのし尿と生活雑排水が配管を通して処理場に集められます。処理場に集められた汚水については、ある程度大きな固形物を取り除き、曝気・攪拌をさせます。その後、大きなプールのような場所で汚泥を沈殿させ、上澄みを更に別の場所に移し消毒を行い、汚泥を沈殿させる。ということを数回行い、白川に放流しております。途中で発生した汚泥については、北九州まで運びセメントの材料となっております。

鳥栖委員 町の下水道普及率と、現在は森地区を実施されているとのことですが、今後の他の地区の計画はあるのでしょうか。

下水道課 下水道普及率については、公共下水道の人口普及率で71％となっております。整備率についても71％程度となっております。水洗化の人口率は86.1％です。平成27年度で森地区の県道より北側が終了し、県道より南側も整備を開始します。現在、下水道の本管が森の県道交差点まで来ており、今後は吹田地区の方に延伸していく予定です。最終的

には瀬田地区まで延伸する計画としておりますが、10年近くはかかるのではないかと思います。

鳥栖委員 10年後で100%になるということでしょうか。

下水道課 10年度に100%ということではなく、公共下水道・農業集落排水でも接続をすることができない場所が残っておりますので、その地域につきましては、町で合併浄化槽を設置する必要があり、その計画が進めば100%になると思われます。

委員長 他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは、最後になりますが、次に工業用水道課の基本事業のご説明をお願いいたします。

工業用水道課 (P1～3について) 工業用水道課審議員より説明。

委員長 ありがとうございます。ただいま工業用水道課関係の説明をいただきましたが、ただいまの説明について、ご意見・ご質問があればお願いします。

緒方委員 説明がありました3ヶ所の水源地はどこにあるのでしょうか。

工業用水道課 中核工業団地内にあります。

緒方委員 そこから各工場に配管して供給しているのですね。それは不純物が混じった水を送水しているのでしょうか。

工業用水道課 不純物は混じっておりません。一般的な飲用水とほとんど変わらない水になります。

緒方委員 1社が全体の7割を占めているということでしたが、費用がかなり発生すると思うのですが、自社で賄うという訳にはいかないのでしょうか。

工業用水道課 中核工業団地については、各自でボーリングを行い自由に使えるようにすると、際限なく使用する可能性があるため、地下水保全の観点からも町で管理コントロールできるように契約されておりますので、中核工業団地内ではボーリングはしないでくださいということになっております。

緒方委員 7割を使用している1社が撤退した場合は、経営がかなり厳しくなるのでしょうか。

工業用水道課 かなり厳しくなると思われます。

委員長 他にご意見・ご質問ありませんでしょうか。

(意見・質疑なし)

委員長 よろしいでしょうか。それでは、予定をしておりました議事は以上のとおりでございます。担当課につきましては、長時間にわたりありがとうございました。

委員長 それでは、本日はこれを持って終了とさせていただきます。皆様ありがとうございました。